

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	文化観光部長 高橋 謙司
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	1-(3) 多文化共生社会	施策の方針	1-(3)-①多文化共生社会の推進
目標とするまちの姿	国籍や民族の異なる人々が互いの文化を認め合い、相互に交流、協力し合うことで、共生社会への取組が進んでいます。また、様々な国籍・文化の人々が安心して快適に生活できる環境が整備されています。			
主な取組	(1)国際理解・交流・協力活動への支援・促進 市民・市民団体と連携しながら講座やイベントを開催するとともに、学校教育の場での国際理解教育を通じて、市民の国際理解の促進を図ります。 (2)外国籍市民が暮らしやすい環境の整備 外国籍市民への行政情報の提供や、学校教育の場での対応の充実に努めます。			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

- ①引き続き、都市間の連携の強化や交流を推進し、国際交流・都市提携の機運を高める。
 ②引き続き、国際交流の啓発事業を実施するほか、市民通訳ボランティア制度の周知啓発に努め、活用を促進し、多文化共生社会実現を着実に推進する。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	188	5,009	380	1,486	7,782	1,809
人件費	16,450	11,424	4,688	8,500	8,816	10,769
総事業費	16,638	16,433	5,068	9,986	16,598	12,578

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	文観-02	都市提携事業		122	2,485	2,607	現状維持	A	現状維持
	文観-11	国際交流推進事業		893	4,142	5,035	現状維持	A	現状維持
	文観-12	都市提携事業		794	4,142	4,936	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

①	・フランス共和国ニース市で開催された国連海洋会議の分会である令和7年6月開催「第1回Ocean Rise and Coastal Resilienceサミット(訳:海洋面上昇と沿岸地域の強靱性サミット)」に副市長が出席し、同日設立されたOcean Rise and Coastal Resilience 連合に加盟したほか、次年度に控える周年事業について調整した。【都市提携事業:国際交流課所管】 ・中華人民共和国敦煌市から「2025年日本青年代表団敦煌訪問事業」に招待され、令和7年6月、鎌倉市役所職員10名が訪問し職員間の交流を深めた。【都市提携事業:国際交流課所管】 ・大韓民国安東市から、令和7年11月開催「21世紀人文価値フォーラム」への招待を受け、市長が政策セッションで、本市の東アジア文化都市事業の取組について発表した。【都市提携事業:国際交流課所管】
②	・令和8年3月に、アルペなんみんセンターの漆原氏による講演を含む国際交流講座を実施した。【国際交流事業:国際交流課所管】 ・市内を中心に活動する鎌倉市国際交流・協力団体連絡会加盟団体等で構成される実行委員会と市の共催で、鎌倉大仏殿高德院において「かまくら国際交流フェスティバル2025」を開催した。【国際交流事業:国際交流課所管】 ・市民通訳ボランティアについて、外国籍市民や事業者からの求めに応じて、合計4回(英語2回、中国語1回、ベトナム語1回)派遣した。また、周知啓発のため、引き続き市HPで情報提供を行った結果、令和7年度には新たに8名の方からボランティアの登録申請があった。(ボランティア登録者総計総計73名)。【国際交流事業:国際交流課所管】
※実施できなかった事業とその理由	

5. 成果指標

成果指標①		国籍や民族の異なる人々が互いの文化を認め合い、相互に交流、協力しあえるまちになっていると感じている市民の割合						出典	市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	59.8	目標値	60.0	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	%	
		実績値	未実施	67.3	67.1	64.7	67.6	63.7		
		達成率	－	110.3%	108.2%	102.7%	105.6%	98.0%	%	
成果指標②		外国籍市民が住みやすいと感じている市民の割合						出典	市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	49.6	目標値	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	%	
		実績値	未実施	61.5	59.2	59.8	62.8	57.5		
		達成率	－	120.6%	113.8%	112.8%	116.3%	104.5%	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

市民意識調査では、多文化共生に対する意識は一定程度醸成されており、都市提携事業や国際交流事業、市民通訳ボランティアの活用などにより、市民の国際理解の促進と外国籍市民の生活環境整備が着実に進展している。一方で、成果指標の数値は減少したこともあり、今後も交流機会の拡充や多言語対応の充実に取り組む必要がある。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

都市提携事業、国際交流講座、国際交流フェスティバルの開催及び市民通訳ボランティアの派遣・周知啓発を着実に実施したことにより、市民の国際理解の促進及び多文化共生社会の推進に一定の成果があった。

また、提携都市との交流や市民参加型の取組を継続したことで、施策の方針の達成に向けた基盤整備が進んだ。

今後も、交流機会の拡充と多言語対応の充実を図り、外国籍市民が暮らしやすい環境整備を進める必要がある。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策

3-1 都市交流

今後も、都市提携事業や国際交流事業を継続し、交流機会の拡充を図るとともに、市民通訳ボランティア制度の周知啓発及び活用促進を進める。

あわせて、外国籍市民への情報提供や多言語対応の充実に取り組み、多文化共生社会の推進を着実に進める。